

|        |  |      |      |      |
|--------|--|------|------|------|
| 科目名    | 芸術   | 担当教員 | 馬場省吾 |      |
| 対象年次   | 配当学期   | 単位数  | 対象   | 必選区分 |
| 1      | 後期   | 2    | 全員   | 選択   |
| 授業の概要  | <p>人類は古代から社会を形成しながら様々な表現を創造し、これにより多様な文化を造りだしてきた。本授業「芸術」では、地域・各時代背景による表現の発生要因を考察し、現代まで系譜する絵画・彫刻・工芸・デザイン各領域の作品および作家を俯瞰する。またそれぞれの造形志向と手法、技法、構成により作品の構造を学ぶことで「美」の発想から成立までその概念・理論を理解する。これらから、日常の事象への再認識する視点を涵養し、各自の美への情動的感性と論理的思考の向上を図る。</p>  |      |      |      |
| 到達目標   | <p>到達目標として<br/>           ①古代・中世・近世・現代の各時代による「芸術」の系譜と概念を理解する。<br/>           ②「美」の観点を考察することができる。<br/>           ③「形態・構成・色彩」の意味を考察することが出来る。<br/>           以上を受講中に質疑応答できる。講義終了後の課題では自身の考察をまとめることが出来る。</p>   |      |      |      |
| 授業計画   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 古代における表現の発生(アルタミラ・ラスコーから縄文期)</li> <li>2 古代における日本の美(縄文後期～弥生期～古墳時代)</li> <li>3 古代から中世における西洋美術①(古代エジプト・メソポタミア美術)</li> <li>4 古代から中世における西洋美術②(ギリシャ・ローマ美術)</li> <li>5 古代から中世における日本美術①(奈良・白鳳期)</li> <li>6 古代から中世における日本美術②(平安期)</li> <li>7 近世西洋美術①(ルネッサンスの巨匠たち/ボッテチェリからダ・ヴィンチ)</li> <li>8 近世西洋美術②(ルネッサンスの巨匠/ミケランジェロ、ラファエロ～バロック)</li> <li>9 中世における日本美術工芸(鎌倉期、武家発生と表現)</li> <li>10 近世における日本美術工芸①(室町期/侘び茶)</li> <li>11 近世における日本美術工芸②(安土・桃山期/琳派)</li> <li>12 近代から現代までの美術工芸(明治期の美術・工芸)</li> <li>13 西洋近代絵画の成立(印象派)</li> <li>14 現代美術(キュビズム、シュールレアリズム)</li> <li>15 デザインと社会(バウハウス～アメリカンデザイン～JAPAN デザイン)</li> </ol> |      |      |      |
| 評価方法   | 各自の志向と考察:レポート評価 60%、表現力10%、能動的受講姿勢 30%により総合評価する。   |      |      |      |
| 教科書    | 必要な場合は、適宜指示します。  |      |      |      |
| 参考書等   | 授業にてレジュメ、プリント等の配布をします。   |      |      |      |
| 事前事後学習 | 受講前に、各自が好む作品・美術書等の閲覧をしておくことが望ましい。また、授業における芸術・美術についての情報や疑問を持つことを求めます。   |      |      |      |
| 備考     | 興味をもって修学されることを望みます。講義中各自に意見を求めた場合は、能動的な返答を期待します。   |      |      |      |